

# 放射性物資に汚染された災害廃棄物 現時点で受け入れは困難



9月8日、なすまどか議員は一般質問で、東日本大震災で発生した災害廃棄物の受け入れに対する市の対応について質問。熊本市は「放射能に汚染された災害廃棄物につ

いては、いまだに安全性への保障は確立されていない。市民の意見を踏まえて慎重に対応したい」と現時点では受け入れが困難である旨の回答を行いました。

## 基準が緩和される災害廃棄物～市民からは不安の声も…

熊本市は震災直後の4月の段階で、環境省の調査に対して、年間5万トンの受け入れが可能と回答していました。

なす議員は「国は、焼却灰や不燃物の埋め立て可能な放射能の基準量を緩和するほか、焼却についてもフィルターなど処理装置があれば焼却可能とするなど、放射性物質に汚染された廃棄物の処理基準を緩め、全国各地で廃棄物が受け入れやすい仕組みづくりを進めている」と指摘。

健康への被害、地下水などへの影響が懸念されるとして、市民から不安の声が出されていることを示し、市民の理解がない状況での受け入れは中止するよう求めました。



## ありがとう「さくらカード」



### 「15周年記念の集い」にご参加ください

さくらカードは、市民の運動により1996年10月にスタートし、今年で15年を迎えます。高齢者や障がい者の社会参加を促進すると同時に、健康増進や地域経済に貢献しています。無料でスタートしたさくらカードも、幸山市政のもとで有料化・プリペイドカードの導入がされました。その時には、雪の降る寒い中、市役所前での座り込みや署

名運動などに取り組み、障がい者にはカード一枚で乗れるパス券を導入させるなど、市民運動により守ってきました。

15周年にあたる今年、改めてさくらカードの大切さを共有し、使いやすい制度へと改善を進めるため、記念の集いを行います。ぜひ、ご参加ください。

**とき** 10月2日（日） 午後**1時30分**から

**ところ** ウェルパル熊本 1階ホール

講演：「障がいがあっても老いてもはつらつ」

講師 橋本宏子先生（元学園大学教授）

【控え室から】  
5年目に突入しブログ「まどかレポート」  
なすまどか

私のブログ（インターネット上に公開している日記・報告のようなもの）が、5年目に突入しました。議員になる前に始めたブログ。「政治がわかりにくい」「役立つ情報を知らせてほしい」「こうした声を受け、スタートさせました。小学校のころから、日記をつけても一週間も続かなかった私が、長い間ブログを続けてこられたのは、市民の方をはじめ、多くのコメントが寄せられ、励ましがあつたからです。記事も、議会報告にとどまらず、無料法律相談や市営住宅の募集のお知らせ、家族のことや趣味の料理のことなど幅広くお知らせしています。中学時代の友人から「いつも見ているよ。」と連絡があったり、ブログを通じて相談が寄せられ、生活を再建された方もいらっしゃいます。

いま、新しい政権のもとで、暮らしたがいったいどうなるのか、不安を抱いている方も少なくありません。だからこそ、政治をわかりやすく知らせ、展望が持てるブログにしていきたいと改めて決意しています。ぜひ、ブログ「まどかレポート」に、お越しいただければと思います。



日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 770

2011年9月25日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

# 総事業費 233 億円の花畑町再開発、事業の見通したたず

## 繰り返される予算の「ムダ」使い、再開発は事実上の破綻！

平成 22 年度の決算審査・総括質疑では、上野議員の質問に、市長は「事業の実現に向けて努力している。事業フレームは、未だ確定していない」と答弁しました。

大劇場構想の基本設計から 4 年以上経過、当初計画がずさんであったため、事業は破綻しています。事業が長引けば、コンサルへのコーディネート料を、市は年 1,000 万円（開発協議会負担分と合わせ毎年 1,500 万円）を払い続けることとなります。

（平成 19 年度）9,000 万円使って実施された、大劇場を中心とした A 街区の基本設計は、事業が頓挫。

（平成 20 年度）産業文化会館の代替ホールなどの B 街区の基本・実施設計予算 1 億 5,000 万円が計上されたものの、年度末に減額補正。

（平成 22 年度）B 街区基本設計・資金計画ほか約 2 億円が予算計上されながら、年度末に減額補正。

（平成 23 年度）今年度中の都市計画決定も見通しなし。

## まだまだ使える「産業文化会館」は、速やかに再開を！

産業文化会館閉鎖の理由は、改修費用が 16 億円程度もかかるということでした。しかし、昭和 42 年に竣工し、40 年以上も利用されている市民会館は、平成 18・19 の 2 ヶ年にわたり設計費用も含めれば 17 億 3,000 万円も使って、耐震やバリアフリー化も含めた大規模改修が行われ大切に使われています。

また、隣接するサンビル・フラワービルはいずれも利用が続けられています。再開発が検討中であっても、施設の利用は可能です。

産業文化会館閉鎖は、年間 30 万人の利用者にとって 700 人規模の中ホールがなくなり、多くのホール難民を生んでいます。仮に、今後は事業が順当にすすんでも、再開発事業完了まで、10 年近くも利用者に迷惑をかけてしまいます。

また、再開発の見通しが無いまま、中心市街地のど真ん中、賑わいの中心に、人を寄せ付けない空ビルがどっかりと建っているのは、賑わい・活性化の壁ではないでしょうか。

## 2010 年 3 月・「花畑開発協議会」の記者発表内容

2010 年 3 月に、花畑町再開発を検討している「花畑開発協議会」が記者会見し公表していた事業内容は、【南側・A 街区】

商業施設が 4,000~6,500 ㎡  
業務施設 12,000~17,000 ㎡  
宿泊施設が 200 室

【北側・B 街区】

放送施設 5,000 ㎡  
市民ホールが 500~700 席

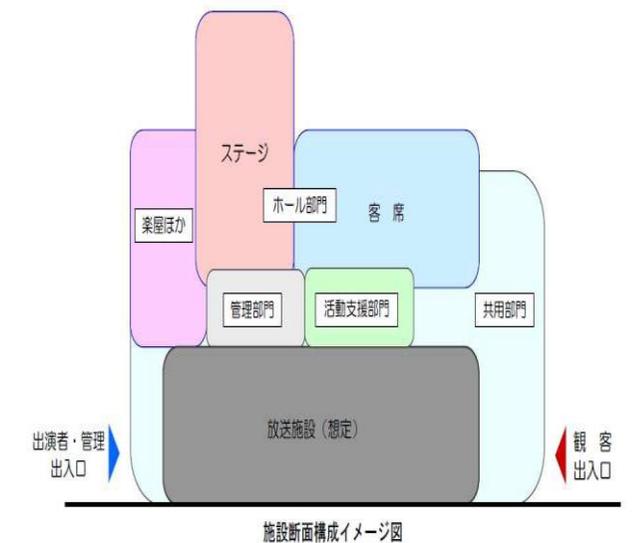
\* AB 両街区の再開発ビルの  
総床面積は 48,000 ㎡



花畑地区再開発事業計画地

## 約 550 万円の委託費を払った「文化ホール基本計画」は棚上げに・・・

産業文化会館の代替となる文化ホールの基本計画策定は、今年 3 月に策定完了、4 月に基本計画公表というスケジュール目標ですすめられてきましたが、未だ中間報告どまりで、基本計画は陽の目を見ていません。計画が公表できないまま、棚上げでは、委託費 550 万円も無駄になります。基本計画棚上げの問題では、市長は「NHKも含め、再開発のフレームが定まっていないから」と答弁しました。



施設断面構成イメージ図